

## Four Cases of Suspected Levetiracetam-Induced Asymptomatic Rhabdomyolysis

Satoshi Saito, Mutsumi Iijima, Ryotaro Ikeguchi, Kentaro Ishizuka, Kazuo Kitagawa.

Cureus. 2023 Jul 10;15(7):e41666. doi: 10.7759/cureus.41666.

【要約】レベチラセタムの副作用として横紋筋融解症が知られている。横紋筋融解症の患者は筋肉痛や腫脹を訴え、血清クレアチンキナーゼ(CK)値の上昇で診断される。レベチラセタムの導入により、無症候性の横紋筋融解症を4例経験したので報告する。4例ともてんかん発作は入院初日のみであり、入院初日にレベチラセタムを導入した。腎機能保護のため、入院時から持続的な補液を行っていたが、血清CK値は上昇し続け、かつ無症候性だった。レベチラセタムをラコサミドに変更したところ血清CK値は速やかに改善した。一般的に横紋筋融解症による血清CK値の上昇が、4日以上続くことはまれであると報告されている。レベチラセタムにより無症候性の横紋筋融解症を起こすこともあり、血液検査などで経過を追うことが望ましい。

